

柏市民活動ニュースレター

2023年9月発行 第30号

柏の“熱い夏”が4年ぶりに戻ってきました！

コロナ禍で中止になっていた柏の夏の風物詩「柏まつり」が4年ぶりに開催され、猛暑の中、待ちに待った大勢の柏市民が街に繰り出し、7月29、30日の2日間の人出は、過去最多の81万人となりました

もう一つの柏の夏の風物詩「手賀沼花火大会」には、ふるさと納税を活用したクラウドファンディングで900万円以上の寄付が寄せられ、市民の熱い期待を背負って、8月5日に盛大に開催されました。

また、市内では70以上の町会・自治会等で地域に密着した夏まつりが開催され、4年ぶりに柏の“熱い夏”が戻ってきました。



<目次>

はじめに	・・・1～2ページ
協働まちづくりサロン「若者が描くこれからの柏 Vol.2」	・・・3ページ
市民活動講座「団体運営をICTでレベルアップ！」	・・・4ページ
生涯現役ときわ会 創立30周年 おめでとうございます！	・・・5ページ
たまご補助金団体、柏・愛らぶ基金団体の活動紹介	・・・6ページ
地域活動・団体活動紹介のパネル展・ポスター展	・・・7ページ
サポートコーナーからのお知らせ	・・・8ページ

柏の“熱い夏”・・・



柏駅前通りハウディモールは人・人・人・・・



全国屈指の強豪校による吹奏楽部演奏会



市内をねり歩くみこしパレード



市内各地域で盛り上がった町会・自治会の夏祭り



今年で最後の柏ねぶたパレード



祭りのフィナーレを飾る輪おどり



夏の夜空に打ち上げ花火

7月28日(金)に実施したまちづくりサロンでは、3月に実施した「若者の関わるまちづくり」をテーマとした第二回目ということで、東葛エリアから都内まで幅広い活動範囲・内容でユニークなまちづくり活動を行っている齋藤和輝氏をゲストにお招きし、多世代がまちづくりに楽しんで参加できるコミュニティ・仕掛けづくりについて参加者で考えていきました。

齋藤氏が関わる「路上博物館」は、「博物館はもっと面白い」をキーワードに掲げて活動している団体です。各地の博物館に所蔵されている動物の骨格標本の3Dデータ化と、そのデータを使って3Dプリンタでミニチュアサイズの標本フィギュアを作り、子ども～シニアまで、誰でも・どこでも・どんな角度からでも手に取って博物館資料を身近に触れることができる機会をつくっています。地域の子どもが集まるイベントに出展し、子どもたちが標本を屋外で手に取って学ぶことができる機会をつくったり、現在は「3D撮影旅団」という3Dモデルを作る若者の育成事業にも取り組んでいます。



子ども向けイベントの出展の様子
(写真右は路上博物館代表・森氏)

齋藤氏は路上博物館の取り組み以外にも「齋藤商店」という屋号で各地でもユニークな取り組みを行っていますが、多世代参加の要素を意識する際に行っているのは「多世代」解像度を

上げること。どんな「多世代」がいるか、その「多世代」の相手が「気に入ること」「嫌がること」をイメージできるかを考えるそうです。「ひとくちに現役世代、若者と言っても30代と10代では全く好みも行えることも違う。同じ“世代”の中にも“多世代”はあり得るので、その解像度を上げて考えること、多くの世代の人と意識して出会うことが重要だと考えています」という話がとても印象的でした。



今回は地域の居場所づくりをしている団体・広報で興味を持った市民の方・学生等多様な所属の12名が参加しました。夏休み期間だったため参加してくれた学生からは「普段、学内でも企画などを行っているが、仕掛けるためのコツなどは学校で学べないのですごく新鮮だった」という感想を頂きました。

参加者の感想

- どのような場合も何かしらの壁はあると思うが、その境界線をあえて高めにしたりするのは面白い視点だった。
- 実際にコミュニティマネジメントをされている方の話を聴けて学びになりました。
- 最近柏に来た・これから柏に住みたい人をどう巻き込めるかを考える会などがあったらよいのでは。
- 来た人の関係性が変わることが大事、という話が学びになった。
- 自分がいなくても成り立つ仕組み作り、という言葉が印象的だった。

第2回市民活動講座（8/29） 団体運営をICTでレベルアップ！

8月29日（火）、団体の基盤強化を目的としたICT（情報通信技術）に関する講座を開催しました。講師は一般社団法人ICT能力開発協会の青山 司 氏です。

当日は市民活動団体や町会組織に所属する14名が受講されました。昨今のICTの時代背景と最新用語の説明のあと、演習ではパソコンとスマートフォンを使い、さまざまなGoogleサービスをデバイスフリーで体験したり、今話題の生成AIを実験・実感したりと、受講者全員が驚きと発見！学び多き盛りだくさんの講座となりました。

青山先生によると、これからの時代のICTはクラウドとAIの方向になり、その技術はもっと人間に近づいてくると言われます。みなさんも便利なICTを活動に取り入れてみはいかがでしょうか？

市民活動サポートコーナーでは、非営利活動団体が最新のICTを十分理解し、うまくパソコンやスマホを使いながら活動に活かしていけるよう、引き続き、ICT活用支援に努めてまいります。



- テーマ 『団体運営をICTでレベルアップ』
- 日時 2023年8月29日（火）
午後1時30分～4時30分
- 場所 パレット柏 ミーティングルーム AB
- 講師 一般社団法人ICT能力開発協会
青山 司 氏
- 内容 PC・スマホをクラウドで利用するための基本操作の演習
Google サービス、生成AIの実験・実感
質疑応答など

---当日の演習内容---

【Google サービス】

- フォーム
大勢の意見をリアルタイムで集計・可視化できる。QRコードの読み込み、アンケート回答。
- ドキュメント
メモから本格的なレポートまでできる文書作成アプリ。AI搭載の音声マイクで文書入力。
- ドライブ
さまざまなファイルが自動保存される。マイドキュメント・共有アイテムの使い分け。
- チャット
グループ設定した複数人で同時操作、Meet起動による動画共有。50名まで可能。
- キープ
電子メモ機能。画像からテキスト抽出。

【その他】

- 生成AIを実験・体験
マイクロソフト Bing



受講生のさまざまな疑問にも
分かりやすく、かつユーモアに
お答えいただきました。
青山先生、ありがとうございました！



祝
30周年

生涯現役ときわ会 創立 30 周年 おめでとうございます！



市民公益活動団体「生涯現役ときわ会」（以下、ときわ会）は、「地域に交流交友の輪を拡げ、生涯学習の活動を通して積極的にまちづくりを推進すること」を目的として、平成5年に113名の会員でスタートしました。30年経った現在も積極的な活動を続けるときわ会の現在の代表世話人である逸見隆夫さんに、30年にわたる活動継続の秘訣などが聞きました。

ときわ会は「学び」や「ボランティア」の活動グループが活動単位となっていて、会員はそのいずれかに所属しています。設立当初は19グループでスタートし、現在も196名の会員が17グループに所属し活動しています。

初代代表世話人は「Think Globally Act Locally」を行動基準として、国際的感覚に基づいた地域に密着した活動を目指していたそうです。

活動継続の秘訣として、逸見さんは以下の項目を挙げられました。



（1）運営体制の維持と実施

運営体制の維持は団体活動の基本ですが、ときわ会は世話人を選出し専門部会に所属する仕組みをつくり維持しているそうです。ちなみに現在の代表世話人の逸見さんは7代目とのこと。

（2）多様な活動グループを維持

活動目的にある地域に交流交友の輪を拡げるために、設立当初から多様な活動グループをつくり活動しています。30年間の中で廃部や新設もあり時代に即した活動を行っています。

（3）20周年、25周年、30周年の記念行事の実施

30周年である今年は、2月に記念式典、4月に記念音楽フェスタ、9月に記念作品展&活動展を開催しました。普段活動グループでの活動が中心ですが、このような全体行事を行うことによって会としての結束を高めています。

（4）柏市民活動フェスタ等地域イベントへの積極的な参加

柏市民活動フェスタはこれまで16回開催していますが、ときわ会はその全てに参加し、地域とのつながりを確認してまちづくりに貢献しています。



30周年記念作品展&活動展

最後に、ときわ会が2021年に会員に対して行ったアンケートで、約80%の会員が活動に満足しているものの、体調不良による退会者が増加しており、会費を活動の原資にしている会の運営に支障が出ているため運営の効率化を進めているそうです。どこの団体でも同じような課題がありますが、課題を乗り越え、多くの会員に支えられて今後も活動が発展し、40周年、50周年にも取材させてもらうことを楽しみにしています。

たまご補助金団体、柏・愛らぶ基金団体の活動紹介

たまご補助金団体

■団体名

Chloris Music (クロリス・ミュージック)

■団体紹介

(団体の詳細)



クラシック音楽というアナログの音楽体験で子どもたちの心と体に働きかけ、感性を豊かにしてもらうために、こども園・幼稚園・保育園・子育て支援センターなどでコンサートを行っています。令和5年度は、柏市民公益活動育成補助金(たまご補助金)を活用して、以下の事業に取り組んでいます。

- ① 子育て支援センター等でコンサート
- ② 自主公演でコンサート
- ③ 団体公演紹介のリーフレット作成・発送
- ④ はぐはぐフォーラム等でリーフレット配布

■活動紹介 (サポーターコーナー 及川)

7月15日(土)、柏の葉のチコル☆シェアで開催された、未就学児を対象とした親子で楽しめるコンサート「うたってあそぼ!りとみっくコンサート」を見学させていただきました。

パパママとお子さん6組21人の親子が参加し、7月のテーマ「どうぶつ」に因んだ曲を歌や踊りで自由に表現し、楽しんでいました。

これからも音楽で、子どもたちの豊かな感性を育ててください。

ヴァイオリン担当のかめちゃん



フルート担当のきっちー



柏・愛らぶ基金団体

柏市消費生活かたくりの会連絡協議会

市民生活全般(環境問題、悪徳商法への対応、食育等)をとおして、人が生まれてから亡くなるまでの消費者の保護に対し、周知、啓発、情報提供を行っています(1998年設立)。基金は消費生活センターや町会等と連携し特殊詐欺の未然防止の為に時代のニーズに合わせた寸劇を市内各所で実施したり、子どもルームで環境問題に関する紙芝居を行ったり、多世代を対象とした消費生活啓発活動に活用されています。



(団体の詳細)



柏ジュニアストリングオーケストラ

青少年の健全育成、クラシック音楽の普及啓発と共に、地域に豊かな音楽文化が根づくことを目的に、クラシックの演奏会に行く機会の少ない高齢者や障がいのある方、乳幼児も参加しやすい演奏会を企画・開催しています(1983年設立)。基金は、親しむ機会の少ない弦楽器を中心とした演奏会と弦楽器体験の開催をとおし広く一般の方に弦楽器の魅力に触れて楽しむことができ



る「KJSO 音楽プロジェクト」などに活用されています。

(団体の詳細)



町会・自治会等の活動紹介パネル展

柏市内の町会・自治会・区の活動について、「令和4年度新年度に向けたアンケート調査」のイベントに関する設問に記載いただいた内容をもとに、市民活動支援課の地域づくりコーディネーターなどが中心になってパネルを作成し、6月のアミュゼ柏に次いで、9月にパレット柏でパネル展を開催しました。

各地域の日頃の活動や暮らしの一端を垣間見ることができました。



たまご補助金・愛らぶ基金団体の活動紹介ポスター展

令和5年度に、柏市民公益活動育成補助金（たまご補助金）と柏市民公益活動促進基金（愛らぶ基金）を活用して活動している市民公益活動団体の活動紹介ポスター展が、9月15日（金）から30日（土）まで、パレット柏で開催されました。

それぞれに創意工夫されたポスターが展示されていましたが、特に愛らぶ基金団体の展示は各団体に自由に装飾を行っていただいたので、個性的な展示が印象的でした。



市民活動講座・協働まちづくりサロンのご案内（10月～12月）

■市民活動講座

10月13日（金）15:30～17:30 「市民活動団体の助成金申請ガイド」

■協働まちづくりサロン

11月30日（木）9:30～11:30 「市民目線の子ども・若者の居場所づくり」

まち *match* づくりステーションのご案内（10月～12月）

10月1日（日）～15日（日）	柏市リサイクルプラザリボン館運営委員会
10月16日（月）～31日（火）	ママ&キッズ
11月1日（水）～15日（水）	柏・麦わらぼうしの会
11月16日（木）～30日（木）	柏市民活動フリーマーケットぽかぽか市ポスター展
12月1日（金）～15日（金）	障がい理解の展示（予定）
12月16日（土）～28日（木）	地球温暖化防止月間の展示（予定）

11月23日（木・祝）フリーマーケットぽかぽか市 開催

柏市民活動の秋の祭典「柏市民活動フリーマーケットぽかぽか市」が、11月23日（木・祝）に、29団体が参加して柏駅前通りハウディモール歩行者天国で開催されます。

ご家族やお友達をお誘いの上、是非ご来場ください。

2023年3月21日開催
ぽかぽか市の様子



～編集後記～

柏の“熱い夏”はスポーツ界にも及んでいます。大相撲夏場所で日本体育大学柏高校相撲部出身の豊昇龍関が見事に幕内優勝を飾り、大関に昇進しました。おめでとうございます。さらに上の番付を目指して頑張ってください！

さて、市民活動は“秋の陣”。猛暑で控えていた各団体の活動も息を吹き返す今日この頃。豊昇龍関に負けず柏を盛り上げましょう！



（編集：及川愛二）

柏市民活動ニュースレター 第30号 2023年9月発行

発行者 柏市市民活動支援課 市民活動サポートコーナー

電話 04-7163-1143 FAX 04-7163-1147

メール shiminkatsudo-c@city.kashiwa.chiba.jp

